

発行：株式会社北海道しんきん情報サービス 〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811



## TOPICS.1

### 第21回定時株主総会開催

去る6月11日(金)、信金中央金庫北海道支店において、当社の株主である道内全20金庫のご出席(委任状出席6金庫含)をいただき、第21回定時株主総会を開催いたしました。

当団は、第20期(2020年度)事業報告の後、第1号議案の貸借対照表・損益計算書・株主資本等変動計算書承認の件に始まり、監査役辞任に伴う監査役選任の件など全4議案について審議、全て原案通り承認されました。

なお、会議に先立ち、武田社長から次のとおりご挨拶がございました。

#### 挨拶内容

本日は、各金庫総代会で何かとお忙しい中、また、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下にもかかわらず、ご出席いただき誠に有難うございます。

日頃は当社の運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年も大変厳しい状況下での総会になってしまいました。

昨年の総会でも、新型コロナ感染拡大で未曾有の災禍に見舞われてしまったことをご挨拶で申し上げたわけですが、心のどこかに「今年だけの特別なことであって、今回一度きりのこと」と、高を括っていたところがあり、まさか今年も同じ状況、それどころか昨年よりも悪化しているような、これほど長期間何一つ改善していないことを予想しておりませんでした。

昨年の総会時は、当時の緊急事態宣言が解除され、ようやく少し落ち着きを取り戻しつつある時でしたが、第2波を警戒しながら油断しないよう過ごしていかなければならぬ、そんな話をしていたと記憶しております。

そこから今日に至るまで、第2波どころか3波4波と繰り返し、医療提供体制の逼迫はもとより深刻な経済への打撃を与えることとなりました。

とにかく一日も早いワクチン接種等で、感染を抑え込む流れになってほしい、そして少しでも以前のような「人との交流ができる」環境に戻ってほしいと願うばかりです。

仕事においても、このような「想定外」のトラブルなり変化は、常に念頭に置いておかなければならない、と改めて突き付けられていると感じております。

想定外のことを想定しておく。万一のことが起きた時、どう対処すべきかを日頃の心構えや訓練によってしっかりと備え、「想定内」

にしておく必要があると考えております。

当社も10月にはお陰様で創立20周年を迎えます。キャッシュカード発行等、僅か2~3の業務から始まった当社も、今や30を超えるサービスの提供と大規模サーバを抱え、大きな情報システムのデータセンターに成長させていただきました。

言うまでもなく、利用していただく金庫の皆様のご理解と、ご支援のお陰の何物でもなく、全道信用金庫の重要なインフラをお預かりしている会社ということを一層強く認識し、しっかり自覺して業務に邁進してまいりたいと思っております。

毎々申しておりますが、当社は「全道信用金庫のための会社」であって1ベンダーではありません。業界の一員として、業界の利益のためにどう貢献できるかを一番に考えております。

システムというのはどうしても目先でお金のかかることですが、当社の存在意義と使命をしっかり念頭に置いていれば、そこに弊が生じることはありませんし、会社の安全・安定稼働のため、そして業界への貢献のための最善策を常に考えて経営してまいりたいと思っておりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



取締役  
および  
監査役

代表取締役会長 増田正二 (帯広信用金庫相談役)  
代表取締役社長 武田大二郎 (企画・営業推進担当)  
代表取締役副社長 藤谷直久 (道南うみ街信用金庫理事長)  
常務取締役 池田達哉 (総務、システム管理、為替集中、自動機監視担当)  
取締役 山田隆秀 (室蘭信用金庫理事長)

取締役 熊尾憲昭 (空知信用金庫理事長)  
取締役 館崎雄二 (伊達信用金庫理事長)  
取締役 伴道弘 (網走信用金庫理事長)  
取締役 宮井清隆 (留萌信用金庫理事長)  
監査役 大沼孝司 (臼杵信用金庫理事長)  
監査役 関谷忠 (北海道信用金庫協会専務理事)

第6回

信用金庫インタビュー

## 北空知信用金庫



北空知信金 業務グループの皆様

## TV会議システム(LiveOn)について

- TV会議システム(LiveOn)は、現在7金庫にご利用いただいており、北空知信金様は道内では先進でご導入いただいております。ご導入の経緯をお聞かせください。

導入前は別システムを利用していたのですが、より高性能で高品質なシステムがないか探していたところ、HSISから「LiveOn」をご紹介いただきました。

実際に、使いやすさもさることながら、音声の途切れや遅延もなく、まさに「使える」システムであると判断し導入する運びとなりました。

- ご利用開始から6年が経過いたしましたが、システムの良い点をお聞かせください。

研修や支店長会議等で使用していますが、何より高音質で、スムーズに会話できる点が良いです。

また、録音・録画機能や資料共有機能など使用できる基本機能が多い点も気に入っています。セキュリティ対策やサポートがしっかりしている点も非常に助かります。

- 研修や支店長会議等で使用いただいていることですが、その他に活用事例等があればお聞かせください。

今年度からLiveOnをタブレットで使用できるよう準備を進めており、相続等のお客様との相談業務での活用を検討しています。

また、昨今他金庫との情報交換の場が減っているため、道内金庫との打ち合わせ等にも使用していきたいです。

## Live On 接続方法

## 簡単スタート(ログイン後、2クリックで会議スタート)



Internet Explorer等のブラウザでログイン画面からIDとパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリック。



会議室を選択し「入室」ボタンをクリック。



すぐに会議を始められます。  
※音声の設定等は自動的に行われ、快適な音質で会議を開始できます。

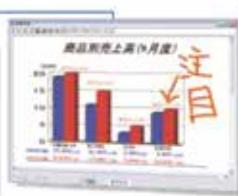
## 簡単操作(各種機能が簡単に利用できます)



各種環境設定



ホワイトボード



資料共有

## TOPICS.3

# ISDNの廃止に伴う対応について

自動振替データの伝送に使用されるISDN(NTT提供)は、2024年1月に廃止が予定されており、データ授受方法の見直しが喫緊の課題となっています。

ISDNの代替サービスとしては、NTTデータが提供する「AnserDATAPORT(ADP)」があり、メガバンクやゆうちょ銀行ならびに道内地銀・第2地銀では既にこのサービスへの切替えを表明している状況です。

当社では、2021年秋にはこの「ADP」のほか、小規模企業向けのインターネットを利用した「VALUX」およびインターネットを利用したVPN接続(広域IP網対応版 全銀手順)の3種類から選択いただけるよう準備を進めております。

また、地公体との為替データの伝送化ならびにISDNを利用したFBサービスの代替案として、これらのサービスで対応できるよう、検討を進めております。

### 【現 状】

相手先	伝送方法	委託先	データ種類	実施交渉	開始時の当社作業	備 考
企業	ISDN	HBA	①自動振替	当社	・伝送情報の収集、登録 ・伝送費用交渉と契約	伝送費用は企業負担

### 【対応・進捗】

相手先	伝送方法	委託先	データ種類	実施交渉	開始時の当社作業	備 考
企業	ADP	NTTデータ	①自動振替	当社	・伝送情報の収集、登録 ・伝送費用交渉と契約	・2021年10月開始で準備中 ・既契約企業へ今後の伝送方法と導入予定期を調査中 ・伝送費用は企業負担
	VALUX					
	VPN	HBA				
地公体	ADP	NTTデータ	①自動振替 ②振込	信用金庫	・伝送情報の収集、登録 ・信用金庫からの受託手続き	・2021年10月開始で準備中 ・地公体はADPに接続できるネットワークを保有済 ・作業は当社で対応

本サービスにご意見・ご要望がございましたら、システム管理グループまでお気軽にお問い合わせください。

☎ 011-233-1287

## TOPICS.4

# シンクライアントシステムのご紹介

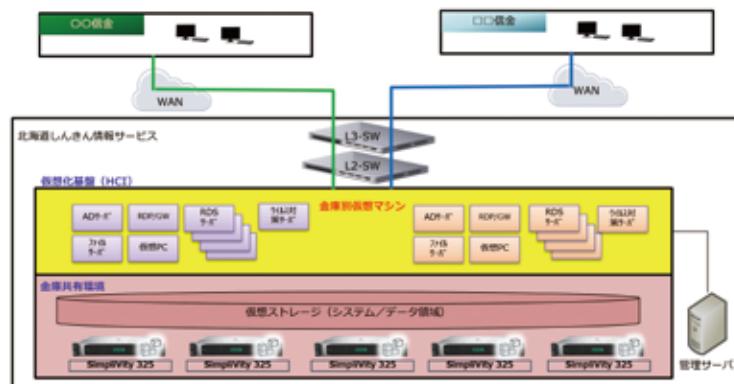
シンクライアントシステムは、クライアント端末にデータを保有せず、管理者がサーバ側ですべてのデータを一元管理できるため、高いセキュリティ対策となり、また、管理者の運用負担を大幅に軽減することができるシステムです。

当社では、金庫取り纏めによるサポート費用の低廉化とハード機器(一部)の共同利用による初期費用の削減ができるため2014年よりサービス提供し、現在3金庫にご利用いただいております。

本システムでは、ライセンス費用を低減できる「リモートデスクトップ」と、リモートデスクトップで動作しないソフト(Server OS以外で動作するソフト)に対応できる「仮想PC」について、自由にご選択いただけます。ハイブリット方式を採用し、利用金庫様からご好評いただいております。

今年度はハード機器が導入から7年を経過し更改期を迎えるため、更改を実施しております。

更改にあたって、ハード機器については従前どおり共同利用することで価格の低廉化を図りつつ、次世代仮想基盤といわれる「ハイパーコンバージドインフラ」HCIを採用し、耐障害性の飛躍的な向上と、高速なデータ処理を実現いたします。



本サービスにご興味をお持ちの金庫様は企画・営業推進グループまでお気軽にお問合せください。☎ 011-221-2210

## TOPICS.5

# RPA支援サービスのご紹介

RPA支援サービスにつきましては、2019年に提供を開始し、4金庫がライセンス(UiPath)を購入、1金庫にBPOサービス(当社がRPAを用いて金庫業務を代行するサービス)をご利用いただいております。

当サービスは、ライセンス販売だけではなく、導入後の技術サポート、ロボット作成代行も行っており、更にはライセンスを金庫で購入せずに月額利用料のみで安価にご利用いただくことができるBPOサービスをご用意しておりますので、各金庫に合ったご利用方法をご選択いただくことが可能です。

また、当社サービスで斡旋しているUiPathは、新機能を実装し更に高性能に、更に便利になりました。PC上の操作(マウスクリックやキーボード操作)を記録し、自動でロボットの定義書(仕様書)やシナリオ作成ができる「Task Capture」や、従来のStudio(開発環境)よりも機能を抑え、初心者でも簡単にロボットを作成できる「Studio XJ」が標準実装されておりますので、開発工数の削減やドキュメント作成作業の省力化に効果的です。

定例的な単純作業にかかる作業時間削減に非常に有効なサービスですので、ご検討の際は是非とも当社にご相談ください。

## <Task Capture>

PC上で操作した手順を記録し、ワンクリックでプロセス定義書やワークフローファイル(ロボット)が作成可能。

- 作成に時間を要していたプロセス定義書が簡単に作成可能!
- プロセス定義書やワークフローの参照により現場業務の把握が容易に!



## TOPICS.6

# 相続業務支援システム意見交換会(北海道地区)の開催

相続業務支援システム(しんきん大阪システムサービス株)(以下OSS)提供につきましては、全国の利用金庫を対象に、例年ユーザー会が開催されておりますが、去る6月9日(水)に、北海道地区利用金庫限定の意見交換会をOSS様ご協力のもと開催いたしました。

本システムは、当地区では2017年に提供を開始して以降、現在5金庫にご利用いただいております。

これまで金庫単独であげていた機能追加要望の共有や、現在機運が高まっている本部集中化についての当地区運用事例報告、情報交換等を行いました。

本会はTV会議にて開催されましたが、様々な意見をあげていただき、大変活発な意見交換会となりました。ご参加いただきました金庫職員様および本会開催にご協力いただきましたOSS様には、本紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。



本サービスにご興味をお持ちの金庫様は企画・営業推進グループ宛までお気軽にお問い合わせください。 ☎ 011-221-2210

## 「北海道しんきんネットワークエキシビジョン2021」開催中止のお知らせ

2年に1度開催しております当社展示会「北海道しんきんネットワークエキシビジョン」につきましては、昨年、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて延期とし、今年度の開催に向けて準備を進めておりましたが、今なお収束の兆しが見えないため、誠に残念ながら今年度の開催を中止とさせていただく運びとなりました。

1日も早い収束を祈りつつ、来年度の開催に向けて準備を進めて参りますので、開催に際しましては各信用金庫・関連会社様に格別のご協力を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

---

発行：株式会社北海道しんきん情報サービス

〒060-0032 札幌市中央区北2条東7丁目 HBAシステムビル TEL.011-233-1212(代) FAX.011-261-1811